立川綜合病院麻酔科専門研修プログラム

（地域中核病院のモデルプログラム）

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する．

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である．麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである．同時に，関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う．

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

本専門研修プログラムは，専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する．麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている．

本研修プログラムでは，当専門研修基幹施設の特徴である豊富な心臓血管手術症例数を生かしてサブスペシャリティとして心臓血管麻酔の研修を重点的に行うことができる．また整形外科領域においては種々の末梢神経ブロックを駆使しての麻酔管理を習得することができる．

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 研修の１年目は，専門研修基幹施設で研修を行う．
- ２年目及び３年目に東京女子医科大学病院もしくは東京医科大学病院において２年間の研修を行い，ペインクリニックや集中治療を含む様々な症例を経

験する.

- ４年目は再び専門研修基幹施設で研修を行い、高度な心臓麻酔症例等の研修を行う.
- 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築する.

研修実施計画例

年間ローテーション表

	1年目	2年目	３年目	４年目
A	立川綜合病院	東京女子医科大学病院	東京女子医科大学病院（ペイン，集中治療）	立川綜合病院
B	立川綜合病院	東京医科大学病院	東京医科大学病院（ペイン，集中治療）	立川綜合病院

週間予定表

立川綜合病院の例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
当直			当直				

4. 研修施設の指導体制

① 専門研修基幹施設

立川綜合病院

研修プログラム統括責任者：桑原　淳

専門研修指導医：桑原　淳（麻酔, 心臓血管麻酔, 神経ブロック）
佐藤　敬太（麻酔, 心臓血管麻酔, 集中治療）
小澤　菜月（麻酔，心臓血管麻酔，神経ブロック）
岩出　宗代（麻酔，神経ブロック，ペインクリニック）
笹川　香織（麻酔，心臓血管麻酔，神経ブロック）

認定病院番号：1469

特徴：新潟県内で中心的な役割を果たす手術施設．特に県内随一の心臓血管手術症例数を誇り，高度な心臓血管麻酔の修練が可能．また，無痛分娩にも積極的に関わっており周産期の麻酔研修も行っている．

②　専門研修連携施設

③ 東京女子医科大学病院（以下、東京女子医科大学本院）

東京女子医科大学病院（以下、東京女子医科大学本院）

研修プログラム統括責任者：長坂　安子（麻酔）

専門研修指導医：

長坂　安子（麻酔）

黒川　智(麻酔)

尾崎　恭子(麻酔)

鈴木　康之(麻酔)

笹川　智貴(麻酔，ペインクリニック)

吉谷　健司（麻酔）

土井　健司(麻酔)

石川　高(麻酔)

古井　郁恵(麻酔)

森脇　翔太（麻酔）

武石　健太(麻酔)

中澤　莉沙(麻酔)

加賀屋　菜々(麻酔)

鈴木　真也(麻酔)

川本　英智（麻酔）

羽二生　顕（麻酔）

認定病院番号：32

特徴：豊富な症例数を背景として包括的な麻酔研修・ペインクリニック・緩和ケアの研修も可能です．心臓麻酔研修は特に力を入れており，心臓麻酔専門医の取得も可能です．多種の臓器移植（心臓・腎臓）や合併症（先天性心疾患等）妊娠の管理，エコーガイド下ブロック麻酔研修など様々なスペシャリティに対応します．

麻酔管理症例数(2025年度)

6487 件

東京医科大学病院

研修プログラム統括責任者：中澤　春政

専門研修指導医：

中澤　春政（麻酔，集中治療，心臓麻酔）

大瀬戸　清茂（ペインクリニック，麻酔）

中澤　弘一（麻酔，集中治療）

合谷木　徹（麻酔，ペインクリニック，区域麻酔）

柿沼　孝泰（麻酔，心臓麻酔，産科麻酔）

関根　秀介（麻酔，集中治療）

魚島　直美（麻酔）

小野　亜矢（麻酔，心臓麻酔）

齊木　梨香子（麻酔）

鈴木 直樹（麻酔，小児麻酔，心臓麻酔）

栗田　健司（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔，区域麻酔）

都築　有美（麻酔）

唐仁原　慧（麻酔）

認定病院番号　28

特徴：

好立地の施設で最先端の周術期医療にかかわり，安全で質の高い医療を実践しながら，麻酔科関連領域の研鑽を積むことができます．麻酔管理学，集中治療医学，ペインクリニック学の基礎を学び，麻酔科医にとって不可欠な知識・技術を身につけ，教育指導能力の獲得とチーム医療に必要な人間性やリーダーシップを身につけ，プロフェッショナルな麻酔科医になるための研修を提供します．

新潟大学医歯学総合病院

（認定病院番号　20）



麻酔科管理症例数 6,090症例

研修プログラム統括責任者：馬場洋

専門研修指導医	**専門医**
馬場洋（麻酔，ペインクリニック）	黒澤佳奈子(麻酔)
古谷健太（麻酔，神経モニタリング）	山田哲平（麻酔，心臓麻酔，区域麻酔，小児麻酔）
本田博之（麻酔，集中治療）	安部達也（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔）
山本知裕（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔，産科麻酔）	佐藤昂介（麻酔）
渡部達範（麻酔，ペインクリニック，区域麻酔，心臓麻酔）	稲葉真由子（麻酔，心臓麻酔）
倉部美起（麻酔，心臓麻酔）	植木香奈（麻酔）
番場景子（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔）	
大西毅（麻酔）	
大橋宣子（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔）	
松田敬一郎（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔）	
清野豊（麻酔，心臓麻酔，小児麻酔）	
出口浩之（麻酔，心臓麻酔，神経モニタリング）	
柳村春江（麻酔，心臓麻酔）	
星野林太郎（麻酔，心臓麻酔）	
晝間優隆（麻酔，集中治療）	
栗田秀一郎（麻酔，集中治療，神経モニタリング）	
日比野亮信（麻酔，集中治療）	
古寺貴恵（麻酔，心臓麻酔）	
丸山由起子（麻酔，心臓麻酔）	

特徴：多くの専門研修指導医が在籍．専門医試験受験に必要十分な経験症例の他，重症症例，先端技術を用いた手術など県内随一の豊富な症例数を誇る．心臓血管外科麻酔の重点的な研修が可能．高次災害医療センターが併設され，救急症例が多い．ペイン，集中治療のローテーションが可能．社会人大学院生（手術室勤務・日当直のdutyあり）として就労しながら基礎・臨床研究に取り組むことも可能で、その場合は早期に学位取得が可能となる．休日・夜間は全日2名以上の拘束番体制を敷き，拘束番翌日の診療業務は免除している．

●戸田中央総合病院

研修プログラム統括責任者：板橋　俊雄

専門研修指導医：板橋　俊雄（麻酔）

宮﨑　裕也（麻酔，集中治療）

眞鍋　亜里沙（麻酔，集中治療）

蔵本　愛理（麻酔）

認定病院番号：587

特徴：埼玉県南部地域における急性期中核病院である．小児麻酔，心臓外科麻酔，呼吸器外科麻酔，脳神経外科麻酔，移植外科麻酔を含めた総合的な麻酔研修を行うとともに，重症患者に対する集中治療，及び，地域における救急医療の研修を行う．

●　東京医科大学八王子医療センター

研修プログラム統括責任者：富野　美紀子

専門研修指導医：

富野　美紀子（麻酔、心臓麻酔）

前田　亮二（麻酔、ペイン）

大嶽　宏明（麻酔）

奥山　亮介（麻酔）

認定病院番号 203

特徴：

大学附属病院としての高度・先進的な医療と,南多摩医療圏の地域医療の中核と

しての多様な症例をバランスよく経験できる研修環境を提供している.特に，生体腎移植，生体肝移植,膵腎同時移植など移植医療の麻酔を経験できる.
年間麻酔管理症例数：3443 例

新潟市民病院（認定病院番号　189）



麻酔科管理症例数 4,863 症例

研修プログラム統括責任者：西巻浩伸

専門研修指導医	**専門医**
西巻浩伸（麻酔）	大石まゆ（緩和医療）
傳田定平（麻酔，ペインクリニック）	西田茉那（麻酔，ペインクリニック）
今井英一（麻酔，心臓麻酔）	木村明日香（麻酔）
五十嵐美紀（麻酔，心臓麻酔）	真島明史（麻酔）
田中萌生（緩和医療，ペインクリニック）	
井ノ上幸典（救急，集中治療）	
照喜名純（麻酔，心臓麻酔）	

特徴：新潟市民病院麻酔科専門研修プログラムの基幹研修施設．新潟医療圏の三次救急病院．小児,心臓外科症例，救急症例が豊富．市中病院でありながらロボット手術や TAVI などの高難易度の手術や小児患者への手術, 重篤な合併症を有する患者の手術も多数行われている．ペインクリニック外科においてペインクリニック研修が可能．また，緩和医療の研修も可能.

新潟県立中央病院（認定病院番号　670）



麻酔科管理症例数 2,587 症例

研修実施責任者：渡邉逸平

専門研修指導医	**専門医**
渡邉逸平（麻酔，集中治療，ペインクリニック）	
持田崇（麻酔，心臓麻酔）	
山本豪（麻酔，心臓麻酔）	
松橋麻里（麻酔）	

特徴：新潟県上越地区の三次救急病院で新潟県立中央病院麻酔科専門研修プログラムの基幹研修施設．症例が豊富で，高齢者の大腿骨近位部骨折から新生児の麻酔まで偏りのない研修が可能．

東京女子医科大学附属足立医療センター

研修プログラム統括責任者：市川順子

専門研修指導医：市川順子（麻酔，心臓麻酔）
小森万希子（麻酔、ペインクリニック、集中治療）
西山圭子（麻酔，集中治療）

専門医：　向山瑶子(麻酔)
福田友樹(麻酔)

認定病院番号：61

特徴：重症症例を含む多くの麻酔症例を経験でき、硬膜外カテーテル留置、神経ブロックなど様々な手技を 1 年目から学べます。更に、ペインクリニック，集中治療、心臓麻酔、小児麻酔を集中的に学ぶことで、サブスペシャリティに進む端緒となる研修が可能です。

TMG あさか医療センター

麻酔科認定病院認定番号：1268

研修実施責任者：成島光洋

専門研修指導医（9 名）	専門医（1 名）
成島光洋（麻酔）	八木瞳（麻酔）
石橋恵理子（麻酔）	
糟谷祐輔（麻酔）	
茶谷祐一（麻酔）	

平安山剛（麻酔）	
長江泰孝（麻酔）	
岡村圭子（麻酔）	
横山竜也（麻酔）	
筒井健次（緩和ケア・麻酔）	

TMG あさか医療センターの特徴

＜病院概要＞

当院は埼玉県の二次医療圏の南西部に位置し，現在も人口が増加しているエリアのため，症例数も豊富です．地域の消防・診療所・施設とも連携をとり救急患者も多く受け入れています．

＜麻酔科研修＞

2 次救急に対応し，一般症例から重症症例まで幅広く研修可能です．超音波ガイド下神経ブロックの経験が多く積めます．入院サポートセンター（周術期外来）を通して周術期をチーム医療であたります．緩和ケアセンター，集中治療科で学ぶことも可能です．

東京警察病院

研修プログラム統括責任者：石崎　卓

研修指導医：石崎　卓（麻酔）
小安永　佳乃（麻酔）
嵐　朝子（麻酔）
高田　純子（麻酔）
野本　万祐子（麻酔）
濵田　隆太（麻酔）

認定病院番号：338

特徴：東京都中野区における急性期災害拠点病院である．産科麻酔，呼吸器外科麻酔，脳神経外科麻酔を含めた総合的な麻酔研修を行う．

日本大学医学部附属板橋病院

専門研修指導医：鈴木孝浩（麻酔，ペインクリニック）
高木俊一（麻酔，ペインクリニック，産科麻酔）
北島　治（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）
道宗　明（麻酔，心臓麻酔）
湯本正寿（麻酔，区域麻酔，産科麻酔）
松井美貴（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）

中澤圭介（麻酔，心臓麻酔，区域麻酔）
山本　舞（麻酔，集中治療）
神谷岳史（麻酔，心臓麻酔，区域麻酔）
板垣益美（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）
溝口水季（麻酔，産科麻酔）
板谷朋亮（麻酔，区域麻酔，集中治療）

西暦1963年　研修委員会認定病院取得
特徴：本プログラムには無理なく麻酔経験が積めるよう，十分な症例数を確保しており，麻酔研修指導医をはじめ，関連領域の指導体制も整えています．定期的に開催される勉強会や研究会，麻酔関連学術集会に積極的に参加することで，先進的な知識獲得，学習意欲の維持を計れます．誇り、情熱、良好な人間性を有するスタッフの存在と教育体制，専攻医に興味を抱かせる高度な医療の提供，研究内容の充実，安心して臨床業務と研究を実施できるよう収入確保，公正な個人評価などすべてをバランスよく実践し，その上で人を育てるという全面的バックアップが信条です．

日本大学病院
専門研修指導医：前田　剛（麻酔，心臓麻酔）
　　飯田良司（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）
古谷友則（麻酔，ペインクリニック，区域麻酔）
佐藤英恵（麻酔，ペインクリニック，区域麻酔）
木内直人（麻酔，心臓麻酔，区域麻酔）
豊島悠太（麻酔，心臓麻酔，区域麻酔）
清水菜央（麻酔）
河合満月（麻酔，心臓麻酔）

西暦1963年　研修委員会認定病院取得
特徴：麻酔全般，ペインクリニック研修可能

国立病院機構 東京医療センター
研修プログラム統括責任者：吉川　保
専門研修指導医：小林佳郎　　（麻酔）
　　吉川　保　　（麻酔・ペインクリニック）
長田大雅　　（麻酔・集中治療）
櫻井裕教　　（麻酔・集中治療）
森　庸介　　（麻酔・集中治療・心臓麻酔）

安村里絵　　（麻酔・集中治療・心臓麻酔･区域麻酔）
　　加藤奈々子　　（麻酔・産科麻酔）
　　吉武美緒　　（麻酔）
　　茂田宏恵　　（麻酔）
専門医：中川布有加　　（麻酔）
　　田中浩平　　（麻酔）
　　肌附里乃　　（麻酔）
　　伊瀬谷沙織　　（麻酔）

認定病院番号　221号
特徴：東京医療センターは旧国立東京第二病院といわれた昭和43年から臨床研修指定病院に指定され、伝統的に医療従事者の教育研修に熱心な施設である。近年は地域との結びつきの強い急性期病院として、救命救急センター・地域がん診療連携拠点病院・東京都災害医療拠点病院・地域医療支援病院などの指定を受けるとともに、高度先進医療にも取り組んでいる。そして当センターの理念『患者の皆様とともに健康を考える医療の実践』を実行すべく、技術とシステムの改修に加え、診療・教育・研究を通して医療の質の向上を目指している病院である。
麻酔科としても、2016年から麻酔科術前外来を開設、2020年からAPSチーム、2021年から和痛チーム、2026年から集中治療チームが発足し、術前から術後まで周術期診療の核となるべく様々な取り組みを行っている。専門医以上のスタッフが多く、若手から中堅そしてベテランまでがバランス良く存在していることも特徴のひとつである。どの年代層も常に新しい事を取り入れ進化する努力を怠らないようにしている。臨床のみでなく、学会発表、論文投稿指導にも力をいれている。また医局の枠にとらわれず、約20年にわたって独自に麻酔科専門医を養成している歴史があり、国内外で活躍する当院麻酔科研修を終えた数多くの麻酔科医と交流する機会があるのも魅力の一つである。

済生会新潟県央基幹病院（認定病院番号　2040）

麻酔科管理症例　2,283症例

研修実習責任者：楠田理絵



特徴：新潟県央地域における救急医療の中核病院で緊急手術の割合が多い．新潟県央医療圏の約22万人の住民が遅滞なく周術期医療が享受できる体制を組んでいることが主な要因である．
また，常勤医全員が麻酔科専門医以上であり，専攻医と1対1で各症例を担当するため，濃厚な研修が受けられる．

5. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに（2022年９月ごろを予定）志望の研修プログラムに応募する．

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，電話，e-mail，郵送のいずれの方法でも可能である．

立川綜合病院　麻酔科 桑原　淳　主任医長
新潟県長岡市旭岡１−２４
TEL 0258-33-3111
E-mail at-kuwabara334@tatikawa.or.jp
Website www.tatikawa.or.jp

6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は，4年間の専門研修を修了することで，安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し，国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる．具体的には，専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる．

１）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技能
２）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
３）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
４）常に進歩する医療・医学に則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために，研修期間中に別途資料**「麻酔科専攻医研修マニュアル」**に定められた専門知識，専門技能，学問的姿勢，医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する．

③　麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識，技能，態度を備えるために，別途資料**「麻酔科専攻医研修マニュアル」**に定められた経験すべき疾患・病態，経験すべき診療・検査，経験すべき麻酔症例，学術活動の経験目標を達成する．

このうちの経験症例に関して，原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが，地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り，研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち，専門研修指導医が指導した症例に限っては，専門研修の経験症例数として数えることができる．

7. 専門研修方法

別途資料**「麻酔科専攻医研修マニュアル」**に定められた１）臨床現場での学習，２）臨床現場を離れた学習，３）自己学習により，専門医としてふさわしい水準の知識，技能，態度を修得する．

8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って，下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する．

専門研修１年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し，ASA１～２度の患者の通常の定時手術に対して，指導医の指導の元，安全に周術期管理を行うことができる．

専門研修２年目

１年目で修得した技能，知識をさらに発展させ，全身状態の悪いASA３度の患者の周術期管理やASA１～２度の緊急手術の周術期管理を，指導医の指導のもと，安全に行うことができる．

専門研修３年目

心臓外科手術，胸部外科手術，脳神経外科手術，帝王切開手術，小児手術などを経験し，さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと，安全に行うことができる．

また，ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する．

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる．基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる．

9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録 : 専攻医は毎研修年次末に，**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する. 研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される．
- 専門研修指導医による評価とフィードバック : 研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う．研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる．

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修４年次の最終月に，**専攻医研修実績フォーマット**，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**をもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する．

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあるかどうかが修了要件である．各施設の研修実施責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる．

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する．評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らないように，研修プログラム統括責任者は，専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある．

研修プログラム統括管理者は，この評価に基づいて，すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために，自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する．

12. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき，研修プログラム管理委員会が判断を行う．
- 出産あるいは疾病などに伴う 6 ヶ月以内の休止は 1 回までは研修期間に含まれる．
- 妊娠・出産・育児・介護・長期療養・留学・大学院進学など正当な理由がある場合は，連続して 2 年迄休止を認めることとする．休止期間は研修期間に含まれない．研修プログラムの休止回数に制限はなく，休止期間が連続して 2 年を越えていなければ，それまでの研修期間はすべて認められ，通算して 4 年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす．
- 2 年を越えて研修プログラムを休止した場合は，それまでの研修期間は認められない．ただし，地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については，卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし 2 年以上の休止を認める．

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は，研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする．
- 専門研修の中断については，専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判断した場合，研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる．

③ 研修プログラムの移動

- 専攻医は，やむを得ない場合，研修期間中に研修プログラムを移動することができる．その際は移動元，移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて，日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある．麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める．

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの基幹施設である立川綜合病院は，地域医療の中核病院としての役割を果たしている．医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し，適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため，専攻医は，大病院だけでなく，地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い，当該地域における麻酔診療のニーズを理解する．

14.専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなります．専攻医の就業環境に関して，各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とします．プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備，労働時間，当直回数，勤務条件，給与なども含む）の整備に努めるとともに、心身の健康維持に配慮します．

年次評価を行う際，専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い，その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する． 就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、研修責任者に文書で通達・指導します．